

日本膜学会第 40 年会のお知らせ

日本膜学会第 40 年会を下記の要領で早稲田大学にて開催いたします。例年通り人工膜、生体膜、ならびに境界領域と、膜学の広範囲な内容を含む年會を企画しております。また、今回は 40 回の記念大会となるため、海外の膜学会会長をお呼びして特別講演を行うとともに、人工膜、生体膜、境界領域で計 5 件のシンポジウムや企業からの発表セッションを計画しております。基礎から応用まで膜の科学、技術に関心をお持ちの皆様のご参加とご発表（口頭およびポスター発表）をお待ちしております。詳細は膜学会ホームページ (<http://www.maku-jp.org/symposium/>) にてお知らせいたします。会員でない皆様も、これを機に是非ともご参加、ご発表頂きたく案内申し上げます。また、学生による優秀な発表に対し学生賞を設けていますので、ふるって応募して下さい。ただし、学生賞の審査対象はポスター発表に限ります。

記

開催日程：2018 年 5 月 8 日（火）、9 日（水）

開催会場：早稲田大学（西早稲田キャンパス 63 号館）

主 催：日本膜学会

共 催：早稲田大学

日本膜学会第 40 年会プログラム

- 韓国膜学会会長特別講演
- 台湾膜学会会長特別講演
- 中国膜学会副会長特別講演
- ◆人工膜シンポジウム 1「膜による水処理技術を展望する IX」～新たなる水処理膜と適用技術の開発～
オーガナイザー：川勝孝博（栗田工業）、熊野淳夫（東洋紡）、赤松憲樹（工学院大学）
- ◆人工膜シンポジウム 2「社会実装を目指す CO₂分離を主としたガス分離膜の研究開発最前線」
オーガナイザー：谷口育雄（九州大学）
- ◆人工膜シンポジウム 3「水素社会の必要性和水素社会を支える膜技術」
オーガナイザー：山口猛央（東京工業大学）、上宮成之（岐阜大学）
- ◆生体膜シンポジウム「イオンチャネル・輸送体の細胞内-形質膜間トラフィックの分子メカニズム」
オーガナイザー：丸中良典（京都府立医科大学）
- ◆境界領域シンポジウム「医療現場で活躍する膜様組織」
オーガナイザー：丸山徹（九州大学）、川上浩良（首都大学東京）

問合せ先

日本膜学会事務局第 40 年会係

〒 113-0033 東京都文京区本郷 5-26-5-702

Tel & Fax : 03-3815-2818, E-mail : membrane@mua.biglobe.ne.jp

日本膜学会 会長	松山秀人
日本膜学会 第 40 年会組織委員長	川上浩良
副組織委員長	丸中良典